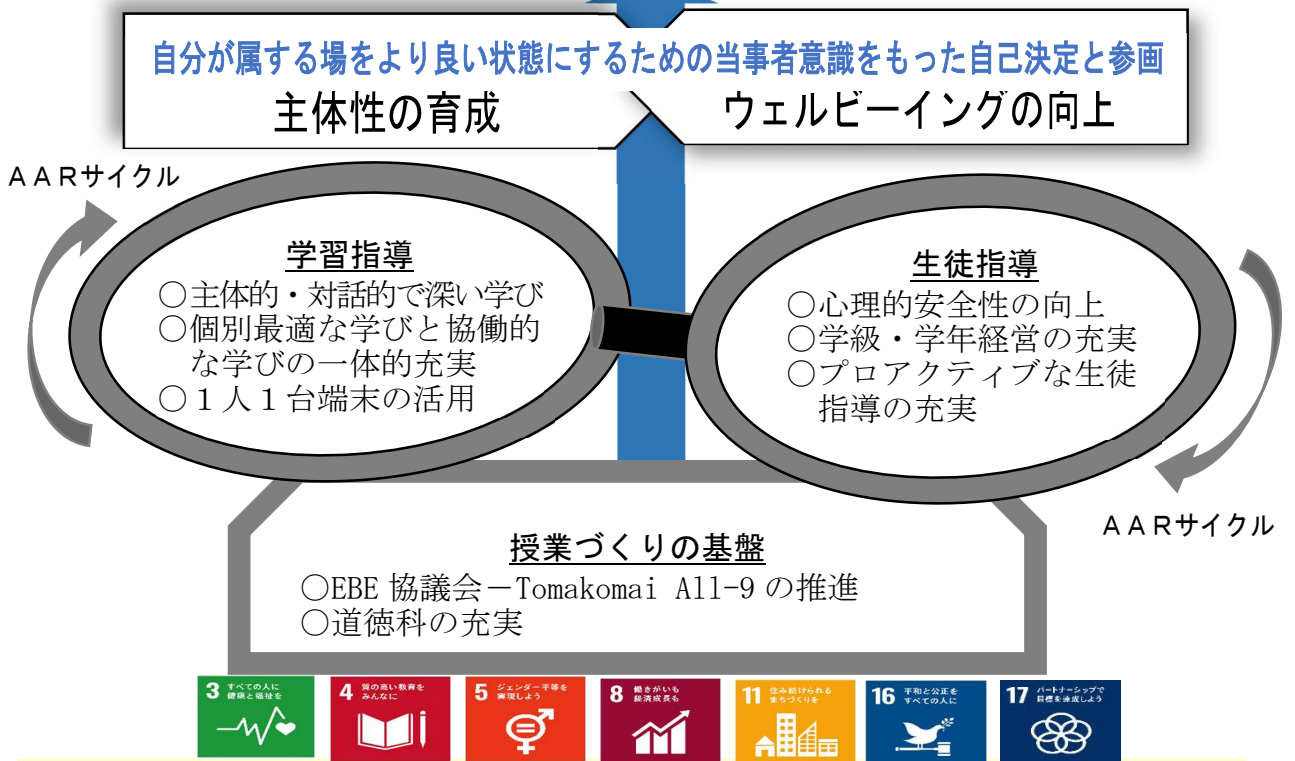




一人一人の生徒を**主語**に！～生徒の**可能性**を最大限に引き出す学校づくり～

学校教育目標	SEISHO PRIDE
自立 貢献 創造	さわやかな挨拶・自ら進んで学習【生活・学習での自己決定】 活力ある生徒会活動・いじめの根絶【他者の権利を尊重する振る舞い】 響き合う合唱・成長し合える仲間【目的を意識した対話による自己変容】



<主な重点取組事項>

<重点1 資質・能力の向上>

- ①生徒が主語の4つの共通取組場面（見通す・決定する・協働する・振り返る）の適切な位置付けによる授業改善の推進
- ②情報活用能力の育成に向けた教科等横断的な教育課程の編成・実施

<重点2 豊かな心の育成>

- ③多様性の包摂を目指した啓発教育の推進
- ④「いじめ見逃しゼロ」の徹底と、いじめの未然防止の取組の充実
- ⑤生徒を主語にした不登校支援

<重点3 生活習慣の確立>

- ⑥SNS利用に係る情報モラル教育の推進
- ⑦「苫小牧市情報機器利用の約束」を踏まえた望ましい電子メディアの利活用に向けた啓発活動

<重点4 地域との連携・協働>

- ⑧CSとして関係機関・地域人材等との連携による学習活動の推進
- ⑨生徒に共助の精神や社会参画意識を育む地域貢献活動の推進

生徒の実態

- 明るく元気なあいさつが定着し、さわやかな校風が確立されている。
- 基礎的・基本的な学習事項がしっかりと定着している。活用発揮することを通して問題を発見し、解決していく力の育成が求められる。
- 教師との信頼関係を基盤として諸活動を通して、自尊感情が育まれている。部活動への取組も積極的で、各種目において上位入賞を果たしている。
- ▲様々な要素が複合した“居づらさ”を乗り越えていくことを困難に感じている生徒に対して、個に応じた支援が必要である。